

# クローバー

## 外来診療担当医表(令和5年6月)

(令和5年5月31日現在)

ブロック	診察室	月	火	水	木	金
②	②-1	<脳神経外科> 小澤 常德 ※5日休診			<脳神経外科> 森 宏	<脳神経外科> 佐藤 大樹 ※9・23日休診
	②-2	<脳神経外科> 大学医師	<脳神経外科> 渡辺 直人	<脳神経外科> 倉部 聡	<脳神経外科> 鎌田 健一 ※29日休診	<脳神経外科> 小澤 常德 ※23日休診
	②-3	<脳神経外科> 倉部 聡		<脳神経外科> 森 宏	<脳神経外科> 小澤 常德 ※22日休診	<脳神経外科> 森 宏
③	③-1	<整形外科> 中山 貴士	<整形外科> 中山 貴士 ※20日休診	<整形外科> 中山 貴士 ※21日休診		<整形外科> 【診療開始10:00】 山本 格 ※2・16・30日休診
	③-2			<呼吸器外科> 垣花 昌俊 ※14・28日休診		<ペインクリニック(麻酔科)> 【診療開始10:00】 大瀬戸 清茂 ※2・23日休診
④	④-1	<外科> 三枝 主弦	<外科> 田子 友哉	<外科> 三枝 主弦	<外科> 福島 元太郎	<外科> 三枝 主弦
	④-2	<脳神経内科> 林 秀樹	<脳神経内科> 永井 香津子	<脳神経内科> 永井 香津子	<脳神経内科> 永井 香津子	<脳神経内科> 23日診療 五十嵐 博中
	④-3	<脳神経内科> 齋藤 豊		<脳神経内科> 齋藤 豊	<脳神経内科> 齋藤 豊	<脳神経内科> 齋藤 豊
⑤	⑤-1	<循環器科> 【診療開始10:00】 山田 昌央	<循環器科> 内藤 大智	<循環器科> 土谷 浩気	<循環器科> 長谷川 祐紀	<循環器科> 【診療開始10:30】 武井 康悦
	⑤-2	<内分泌代謝> 志熊 淳平		<内科・腎臓内科> 田中 基嗣	<内分泌代謝> 田丸 新一	<呼吸器内科> 小林 克行
	⑤-3	<内科> 堀内 陽介	<内科> 阿部 聡		<内科> 阿部 聡	<内科> 堀内 陽介
	⑤-4	<内科> 小川 裕介		<泌尿器科> 豊嶋 豊照		
	⑤-5	<耳鼻咽喉科> 松本 好弘	<耳鼻咽喉科> 松本 好弘		<耳鼻咽喉科> 松本 好弘	<耳鼻咽喉科> 松本 好弘
⑦	午前	<歯科・口腔外科> 安楽 純子	<歯科・口腔外科> 安楽 純子 ※20日休診 (代診:大学医師)	<歯科・口腔外科> 安楽 純子 ※14日休診	<歯科・口腔外科> 安楽 純子	<歯科・口腔外科> 安楽 純子
	午後	<歯科・口腔外科> 安楽 純子	<歯科・口腔外科> 第1週 富原 圭 第2・3・4週 大学医師	<歯科・口腔外科> 安楽 純子 ※14日休診	<歯科・口腔外科> 安楽 純子	<歯科・口腔外科> 安楽 純子 ※16日休診
⑮	午後	<眼科> 田邊 朝子			<眼科> 田邊 朝子	

受付時間	午前	全科(歯科・口腔外科・眼科を除く) 8:30~11:30 (但し 循環器科 火・水・木 8:30~10:00) 歯科・口腔外科 8:30~11:00
	午後	歯科・口腔外科・眼科 13:30~15:30

○歯科・口腔外科は予約制となっております。初診の方はお電話にてご予約ください。  
○医師の都合により予定が変更になる場合があります。ご了承ください。

編集後記 新型コロナウイルス感染症も第5類に分類され、コロナ禍前の生活にもどつつあります。ウクライナとロシア間の争いや物価上昇と値上げの話題がほぼしる中、日本ではWBC世界一やG7サミット広島開催、冷えた日韓関係もここへきて明るい兆しが見え始めています。平和で安全な社会が戻るよう日々祈っております。(H.H)

社会医療法人 嵐陽会 三之町病院 Sannocho Hospital 〒955-0071 三条市本町5-2-30 社会医療法人 嵐陽会 三之町病院 電話 0256-33-0581 クローバー 第23号 □発行日 2023年6月1日 □発行人 三之町病院 □編集 三之町病院広報委員会



### 令和5年4月3日 新入職員がスタッフに加わりました

令和5年度新入職員として看護師10名、放射線技師1名、リハビリ科4名、医事課1名、総務課1名の総勢17名が、4月1日付けで新たに当院のスタッフに加わりました。午後からは、今春見事に国家試験に合格した職員とベトナム出身の看護職員も加り、入職式が執り行われました。昨年までは、新型コロナウイルス対策として近隣のホテルへ会場を移し行っておりましたが、今年の新入研修は今まで通り病院内会議室にて3日間での開催となりました。今年も外部講師を招き『医療機関に求められるサービス』をテーマとした接遇研修や社会保険労務士による「労働法令の基礎知識他」を学びました。今後の皆様のご活躍を期待しております。



# 新入職員代表挨拶



本日は、私ども新入職員の為にこのような入職式を開催していただき、心から感謝しております。

県央基幹病院が来年3月に完成する事になりますが、当院に与えられた使命、いわゆる地域に愛される病院としていくべく、私たち新入職員に求められる期待は高いと思います。それには、私たち新人が医療人として一日も早く立ち立できるような取り組み、三之町病院職員として社会に貢献できるよう努力することだと思います。コロナ禍においても、若い力で乗り越える強い気持ちで、県央地域の医療を支える重要な役割を担う三之町病院で働けることを誇りに、日々精進して参ります。

しかし、社会に出たばかりで右も左もわかりません。先生方や先輩方にはご迷惑をお掛けすることが多々あるかと思いますが、ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。

令和5年4月3日  
新入職員代表 リハビリテーション科



院内  
研修会

## 骨卒中としての大腿骨近位部骨折 ～多職種および地域連携で防ぐ二次骨折～

講師

新潟大学大学院医歯学総合研究科  
健康寿命延伸・運動器疾患医学講座(整形外科)

堀米 洋二



堀米先生の研修を受けて、骨折は入院数と医療費共に件数も多く、現代医療の中でも骨卒中は切り離せない存在であることを再確認できました。これからの予防医療では、一時予防だけではなく二次予防までも考慮していく必要があると思いました。

また、他職種との連携を密にしたリエゾンサービスをしっかりと確立していくこと。骨折のバミュダトライアングルを解消するためには、各医療機関が心がけ行動していく必要があると思います。患者のたらい回しになっている現状を改善でき、二次性骨折予防に貢献できることを学ばせて頂きました。ただ活動し骨折の件数を減少するだけでなく、近年では診療報酬改定に伴い加算の算定ができるようになったことは自分でも初耳でありました。自分の所属している病棟でも対象患者がリハビリテーションを目的とし転院してくることがあるため、これからは意識して取り組んでいきたいと思っています。その他FLS(骨折リエゾンサービス)・OLS(骨粗鬆症リエゾンサービス)の活動についても注目していきたいと思っています。

4階看護師

当院では、他院にて大腿骨近位部骨折の手術を受けた患者様のリハビリテーション目的での入院を受けています。大腿骨近位部骨折が患者様本人、そしてご家族まで、日常生活に及ぼす影響は大きく、高齢化社会が進むにおいて、再度骨折することがないように骨粗鬆症による骨折を予防する必要性があると言われていました。

今回、新潟大学医歯学総合病院の堀米先生の貴重な講演をお聞きして、“骨折の連鎖を断つ”事が結果的に患者様本人、そのご家族の日常生活の向上に貢献し、健康寿命延伸へ繋がることを改めて感じました。

私は、薬剤師として患者様が入院前から服用していた内服薬や入院後に処方された薬の管理に携わっていますが、薬の必要性の再評価や、骨粗鬆症に対する薬の使い分けの提案など、多職種と連携しながら、患者様にとってよりよい医療を提供できるように努めていきたいと思っています。

薬局